

様式 2

学校運営協議会（コミュニティー・スクール）記録

開催日時	令和4年7月22日（金） 10時00分 ～ 11時45分	
会 場	北海道函館養護学校 視聴覚室	
出席者数	9名	ハイブリット開催
出席者名	函館肢体不自由児者父母の会顧問 A 北海道函館養護学校 PTA 副会長 B 旭岡町会長 C 西旭岡町会長 D 函館市旭岡小学校長 E 函館市旭岡中学校長 F NPO 法人日本障害者・高齢者生活支援機構理事長 G 北海道教育大学函館校 教授 I 函館市福祉事務所函館療育・自立支援センター長 J	
欠席者名	社会福祉法人友愛会つくしんぼ学級園長 L	
内 容	発表者	記 録
1 開会の言葉	教 頭	➤ 新型コロナウイルス感染症の急拡大にともない、一部の委員にオンラインに切り替えていただいた。本日の日程も授業参観も中止とする。
2 日程説明	教 頭	
3 委嘱状の交付 校長挨拶 委員の紹介	校 長	
4 学校運営協議会について	校 長	➤ 委嘱状は手交を予定していたが、感染予防のため机上での交付とする。 ➤ 今回は感染症拡大予防のため、内容を変更して行う。学校運営協議会は昨年度に立ち上げている。今年度も学校経営方針についてのご意見をいただきたい。 ➤ 会長、副会長については、今年度あらためて指名する。 ➤ 委員の紹介は、会長から順に、各委員が所属と名前の自己紹介を行う。
5 本校の学校経営について		➤ 本校の概要について、肢体不自由校の子どもたちの実態や取り巻く環境等について説明。 ➤ 本校の学校運営協議会についての概要及び今年度の活動計画を説明。 ➤ 学校経営方針等については、スライドを用いて、今年度の重点や学校教育目標、目指す児童生徒の育ち、学校づくりのビジョン、各学部の教育目標や内容等について説明。
6 学校経営承認		➤ 全員異議なしで承認される。
7 教育活動について	校 長	➤ 本校の教育課程についてスライドを使って説明。時間割や普段の学習の様子、R4年度の主な教育活動に今年度の教育活動の概要を写真を見ながら説明。
8 各委員から	A	➤ 今回は画像もあり、説明がわかりやすかった。個別の指導計画等の視覚的な資料等は、子どもたちの学年が進むときに共有しながらできるのでよいです。 

	B	➤九州から北海道へ転校し、環境が変わる中、先生や福祉関係者、看護師等いろいろな人にささえられて過ごすことができたのでよかったです。これからもよろしくお願いします。	
	C	➤子どもたちのために頑張ってほしい。先生方の姿勢が素晴らしいです。	
	D	➤学校経営方針は、基本的に学校関係者の方のご意見を参考にさせていただき、私は一住民の立場で関わっていきたいです。	
	E	➤将来自分で生きる力、社会で生きる力を身につけられるよう協力していきたいです。	
	F	➤画像を交えての説明でわかりやすかった。ユニバーサルデザインやインクルーシブ教育も必要で、私たちも学ばなければならないです。	
	J	➤小・中・高発達段階に応じて細かい設定がなされていることや ICT も使えるようになって、参加できる場面も増えてきていることが分かった。写真等を踏まえての説明がわかりやすかったです。	
	G	➤わかりやすい資料でした。卒業した後に福祉に携わることを考えれば、18歳～64歳までの47年間あるわけで、人との関わりの中で生きていくスキルが連動していく。交流、ICT 等人とのかかわりの中で学んでいくことが大事。今後とも人との関わりの中で学ぶメニューを増やして行けたらと思います。	
	I	➤質問 教頭先生の説明資料では中学部では準ずる教育が行われていて、高等部では自立活動中心とありましたが、あくまで例として説明されたのですか。	
校長	➤今年度、小、中は重複学級の在籍しかなく、高等部は重複学級のみ設置なので、準ずる教育は設定されていない。ただし、個々の発達段階に応じた教育を行うので、必要な児童生徒には当該学年の内容を一部行うこともある。		
教頭	➤高等部は2つの学習グループがあり、一つめは作業学習・生活単元学習が中心の教育課程であり、もう一つは自立活動中心の教育課程である。		
	I	➤肢体不自由は専門ではないため、障がい特性由来の心理的な負担等があると予想している。特性に応じた指導の専門性があり、職員が指導の専門性を高める必要があります。専門性の内容を紹介してほしいです。	

9 校長挨拶	校長	➤ それぞれの教職員が、専門性をもって指導しているが、うまくいかないこともあります。 ➤ 日々最適な指導を模索し、続けています。 ➤ 関係機関や町内会の方たちと協働して最適な指導につなげていくように今後も努力していきます。
10 閉会の言葉	教頭	 ※ 会終了後、校内に展示されている児童生徒の制作物の見学を行いました。感染症の影響で授業見学ができませんでしたが、次回は、子どもたちの様子の見学やふれあう機会がもてればよいと思います。